地域活性化シンポジウム



基調講演

福島県国見町

農産物を活かした地域づくり

株式会社陽と人 代表取締役
株式会社ゼブラアンドカンパニー
社外取締役

小林 味愛 氏

地域の未来をつくる

地域活性化ビジネス

ビジネス×地域の資源・ニーズの実践から学ぶ地域づくり

local next

基調講演

島根県大田市大森町

歴史・文化を活かした地域づくり

株式会社石見銀山群言堂グループ
代表取締役

松場 忠 氏

参加者募集中

2027年 **1月17日(日)**

13:30～16:00（開場12:30）

会場 **山陽新聞さん太ホール**
岡山市北区柳町2-1-1

定員200名（先着順） | 事前申し込み制 | 参加無料

お申し込みはこちらから▶

主催：岡山市

基調講演　13:40〜14:55



福島県国見町

農産物を活かした地域づくり

株式会社陽と人 代表取締役
株式会社ゼブラアンドカンパニー 社外取締役

小林 味愛 氏

講演テーマ

「新たな視点で地域資源を価値化 ～人口減少社会におけるゼブラ流産業の考え方～」

東京生まれ。国家公務員など経て、2017年に福島県国見町で株式会社陽と人を設立。「農業を稼げる持続可能な産業にする」「女性の健康課題を改善しダイバーシティある社会を実現する」という2つの軸で規格外の農作物の流通・卸売や商品企画を手がけている。特産品製造の工程で廃棄される柿の皮を活用したフェミニンケアブランド「明日 わたしは柿の木にのぼる」は様々な賞を受賞。未来を選択する会議 共同代表。内閣官房 人口総合戦略に関する有識者会議 構成員。



島根県大田市大森町

歴史・文化を活かした地域づくり

株式会社石見銀山群言堂グループ 代表取締役

松場 忠 氏

講演テーマ

「世界遺産・石見銀山の町並みや生活文化を未来につなぐ 地域一体型経営について」

1984年佐賀県鹿島市生まれ。佐賀県立鹿島高等学校卒業、文化服装学院シューズデザイン科卒業。シューズメーカーで靴職人として勤務。その後独立し、妻との結婚後に妻の両親が経営していた株式会社石見銀山生活文化研究所（群言堂）に入社。飲食店の立ち上げ、広報、新ブランド設立などを担当し、2019年、地域観光に特化した株式会社石見銀山生活観光研究所を設立。2022年、株式会社石見銀山群言堂グループ代表取締役に就任。2024年、行政と連携した地域経営をテーマに株式会社石見銀山地域経営研究所を設立。

パネルディスカッション　15:05〜15:55

地域づくりの最前線で活躍する実践者たちが集結。
それぞれの経験をもとに、地域の未来について語り合います。

パネラー

トップランナー 小林 味愛 氏 / トップランナー 松場 忠 氏

地域の未来づくり推進事業採択者



岡山市・御津/omoや545 ディレクター
仲田 早苗 氏

料理研究家・国際中医薬膳師。2018年に岡山市御津五城へ移住し、えんつむプロジェクトを立案。2020年に「omoや545」を開業。店舗運営やスイーツブランド「minaCorale」の商品企画・販路開拓を手がける。



岡山市・西大寺/五福工房 代表
川崎 一平 氏

おかやま活性化ビジネスプランコンテストで大賞を受賞。電子部品メーカーを早期退職後、2021年に西大寺でカフェを開業。翌年、ビール醸造所とピザ工房の複合施設「五福工房」をオープン。

ファシリテーター

岡山市副市長　**北川 由佳 氏**

2010年国土交通省入省、中国運輸局交通企画課長、大臣官房人事課長補佐、自動車局旅客課長補佐などを経て、24年7月岡山市政策局長、今年7月より同副市長。
石川県金沢市出身。



地域の未来づくり推進事業の取組紹介コーナー【ロビー開催】　12:30〜17:00

地域の未来づくり推進事業の取組団体・商品の紹介・販売

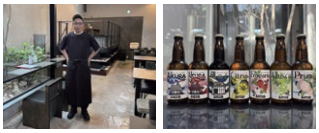
活動地域：岡山市北区御津五城

株式会社FLC design
フリーフロムスイーツ



活動地域：岡山市東区西大寺

株式会社KKM川崎
クラフトビール



活動地域：岡山市北区建部

たけべ カフェグロップ
「サクッ咲くたけべ」クッキー



活動地域：岡山市東区犬島

一般社団法人犬島ととと倶楽部
枇杷の葉茶



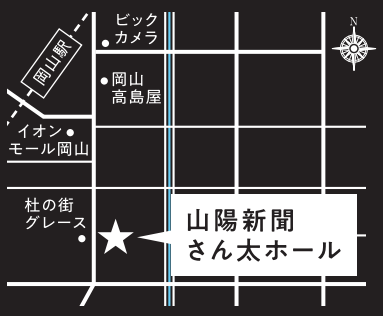
平成の合併20年記念パネル展示【ロビー開催】

スケジュール

12:30	開場（取組団体の商品販売スタート）
13:30	開会
13:40	基調講演 小林 味愛 氏
14:20	基調講演 松場 忠 氏
15:05	パネルディスカッション
16:00	閉会

定員200名（先着順）｜事前申し込み制｜参加無料

お申し込みはこちらから▶



会場
山陽新聞さん太ホール
岡山市北区柳町2-1-1

会場には専用駐車場がございませんので、近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関をご利用の上ご来場ください。

事務局・運営　株式会社山陽新聞事業社
●お問い合わせ　メール：chiikikasseika@sj34.jp